

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート 資料3－1

取組推進方針	取り組み		企業・大学等との連携					
	担当課		市民協働課					
	スケジュール 取組み	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		取り組み内容	企業・大学等との協定に基づく連携事業の実施	企業・大学等との協定に基づく連携事業の実施	企業・大学等との協定に基づく連携事業の実施	企業・大学等との協定に基づく連携事業の実施	企業・大学等との協定に基づく連携事業の実施	
		備 考						
	現況評価及び今後の方向性		市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、企業・大学等との協定を締結し、市民の参加を得ながら協働事業を実施します。					

【取組状況など】

1. 本年度(現在まで)に取り組んだ内容

岐阜大学との連携を強め、岐阜大学の地域貢献科目である、上級プログラムが瑞浪市で開催されました。1年を通じて、情報収集、方向性の議論などを経て、釜戸町平山地区での人口減少問題や関係人口創出の観点から、平山地区のPR方法を検討し、使わない竹を資源として捉え、市民公園にて開催されるナイトマーケットに、バンブーランタン制作のワークショップなどで出展をし、平山地区のPRを市内外の方にさせていただきました。

また、中京学院大学とも「地域活性化プロジェクト」などを通して連携を深めました。

さらには、ミライ創ろまい課の活動を通して、中部大学とも連携し、中部大学の専門的知見を活用することで、クラフトビール製造の過程で生じる麦芽かすを用いたパンや焼き菓子の商品化に繋げました。※今回は岐阜大学との協働活動にフォーカスを絞ります。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 本年度(現在まで)の取組実績

・岐阜大学との連携について

岐阜大学の上級プログラム(1年を通じて地域に入っいただき、地域課題の解決の方法を地域とともに検討し、解決の手段となりうる活動をともに実行することが目的のプログラム)にて、釜戸町平山地区に岐阜大学の学生が溶け込み、地域の行事にも参画していただく中で、平山地区の最も大きな課題を人口減少であると分析。当該地域課題を解決すべく、現地調査や地域での交流を深め、地域での課題解決の糸口を図るため、地域住民とのワークショップを開催。当該ワークショップでは、地域の岐阜大学生から見た魅力を発信することを目的として平山の住みよさを一目でわかるキャッチフレーズとともにポスターで表現した。

また続く2年目では、さらに多くの方に平山地区の魅力や岐阜大学との協働活動を知っていただくため、市民公園で開催されるナイトマーケットに出展。訪れた方に、平山を、そして魅力を知ってもらえるよう、体験型のワークショップや特産のマコモダケを用いたからすみの提供などを行い、関係人口創出を図った。

3年目となる令和6年度は、情報発信力の弱さが根底にあることを分析し、まずは情報発信元を地域の方と一緒に作成することを提案。実際にInstagramが開設され、これから情報発信のツールとして活用していく段階まで来ました。今後は情報発信の内容としての関係人口創出のためのイベントも具体的に検討・実行し、情報発信が定期的に行われて、多くの共感者を獲得できるように地域と協働していただく予定。

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

連携協定を締結している大学との協働の取組みが活発化されました。さらに域学連携活動の活発化を目指します。また、これまで遠方であり、関わりが少なかった岐阜大学や中部大学と連携が多くなり、今後、新たな大学との更なる連携の可能性を感じます。

とりわけ岐阜大学との協働活動については、地域に密着していただき、地域の課題解消と活性化の双方に繋がる可能性のある事業となっています。市民協働課としても引き続き伴走的な支援を行っていきたいです。

(2) 評価に対する今後の取組み

域学連携活動の更なる活発化のみならず、次年度も麦芽かすをアップサイクルした商品の販売で市内企業と連携したように、企業との協働活動を推進することによって、産官学連携を目指します。

また、企業・団体の社会貢献活動を地域のまちづくりに活かしていくために、その連携強化を図ります。

岐阜大学との協働活動については、次年度も平山地区での活動を継続していただけるよう、学生にとっても有意義であるように、地域と大学との調整を行っていきます。また、関係人口創出のための取組みが更なる発展を遂げることができるよう尽力していきます。